

北千種キャンパス

久しぶりに芸術工学部がある北千種キャンパスに行った。前にも書いたように、ここに名古屋市立女子短大(市短)があった頃に18年勤務した。教員としてのスタートを切った場所でもあり、やはり懐かしい。大阪市大でオーバードクターをしていたときに、確か1月下旬に「採用通知」をもらい、緊張しながら面談に訪れた。大阪市大と比べて、綺麗なキャンパスであり、やっと就職できたことを喜んだものだ。現在はキャンパス中央に「シンボル塔」が立っており、芸術工学部らしく建物や景観も昔とは様変わりした。



ほとんど変わっていなかったのが体育館と食堂、図書館などだ。この体育館で「球技大会」に参加したり、公立短大の交流試合でバスケットボール部顧問として「指揮」?にあたったことなどが思い出される。隣の学生食堂もあまり変化していなかった。とくに印象に残るのは、大学祭の夜ここの2階で「徹夜討論」をやったことだ。今では考えにくいが、短大生・卒業生と教員らが徹夜で語り明かすのである。こうした学生との交流を通じて、教員としての「自覚」とスキルを身につけることができた。



図書館は就職して2年目あたりに建てられたもので、それまでは3階の「図書室」であり、これには少しショックを受けた。図書委員として、喜んで引越し作業を手伝ったものだ。この図書館はよく利用させてもらった。



研究室のあった建物も本体は変わっていないが、内部はかなり補修・整備されている。写真は研究室があった4階の廊下であるが、ドアなども綺麗になっていた。10年前の市短から市大への引越しの頃、この廊下が本のダンボールで埋め尽くされていた。良き市短時代を思い出しながら、北千種キャンパスをあとにした。

(2006年3月5日 記)